

日本伝統音楽研究センター第35回公開講座（平成24年度第2回）

くろ み す おん がく 黒御簾音楽を採る

歌舞伎の舞台進行を見計らいながら必要な音楽を適確に提供する「黒御簾音楽」（陰囃子）は、歌舞伎になくてはならない存在です。しかし、歌舞伎の長唄と鳴物の専従者が伝承する特殊な分野であるため、その継承および研究の困難な領域とされています。本講座では、八代目杵屋巳太郎師をゲストに迎え、実演現場からの視点と、研究者による資料調査の成果を結びつけながら、黒御簾音楽の歴史・現状とその役割、東・西の差異等について探ります。

芸談と資料研究

日時 2013年 **2月3日**（日）午後2時～午後4時30分

場所 京都市立芸術大学
日本伝統音楽研究センター合同研究室1（新研究棟7階）

参加費 1,000円 定員 60名

司会 竹内有一（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授）

第一部 講演「黒御簾音楽とその担い手」

土田牧子（東京藝術大学音楽学部非常勤講師）

前島美保（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター非常勤講師）

第二部 インタビュー・座談「杵屋巳太郎師にきく」



ゲスト

八代目 杵屋巳太郎

（尾上菊五郎劇団音楽部 立三味線）

1983年、七代目杵屋巳太郎に入門。2012年12月、杵屋巳吉改め八代目巳太郎を襲名。歌舞伎の菊五郎劇団公演を中心に、出囃子と黒御簾（陰囃子）の両方で中心的演奏者の一人として活躍している。舞台上即して黒御簾音楽を監修する「附師」「舞台師」としても欠かせない存在。2009年第29回伝統文化ボーラ賞奨励賞などを受賞。



- 阪急桂駅東口【セブンイレブンの2番のりば】
京阪京都交通バス ▶ 12・13・14・25・28系統に乗り約15分「芸大前」下車すぐ
※平日の日は毎時平均3本運行
- 阪急桂駅西口
市バス ▶ 西1・西5・西8系統に乗り約20分「新林池公園」下車徒歩10分
- JR京都駅烏丸口
【C2のりば】京阪京都交通バス ▶ 2・28系統に乗り約45分「芸大前」下車すぐ
【C5のりば】市バス ▶ 73系統に乗り約45分「国道沓掛口」下車徒歩10分
- JR桂川駅
京阪京都交通バス ▶ 11A系統に乗り約15分 または 12A系統に乗り約20分
「芸大前」下車すぐ
ヤサカバス ▶ 1号系統（桂坂中央行き）に乗り約15分「新林池公園」
または「国道沓掛口」下車徒歩10分

申込方法

はがき、FAX、電子メールのいずれかの方法により、

①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号（FAX番号）、⑤「第35回公開講座」をご記入の上、お申込みください。

申込先
問い合わせ先

京都市立芸術大学 教務学生支援室（事業推進担当）

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

電話／075-334-2204 FAX／075-334-2241 E-mail／public@kcua.ac.jp